

業務シナリオセッション2-2
【資産価値向上こそ生きる道】

IVIシンポジウム2019-Autumn

PoC型

+

堅実型

+

CIOF

工程能力の可視化

藤田亮介（神戸製鋼所）



松井貴男（ニコン）

高麓初子（富士通）

今野浩好（今野製作所）

杉浦純一（横河電機）

砂山善則（日本精工）

長岡進（AAC）

土井康正（SCREEN SPE ワークス）

江草秀幸（マツダ）

川北光雄（マツダ）

堀水修（日立製作所）

山川紘明（三菱電機）

松井裕晃（シーイーシー）



山田俊美（安川電機）

吉村正平（エコノサポート）

発表者：藤田亮介



Industrial Value Chain Initiative



ファシリテータ



エディター

5C01

対象とする問題/取り組む課題

対象：プレス用金型の機械加工工程

問題：計画と工程の実態が乖離し**計画**遅れが発生している。

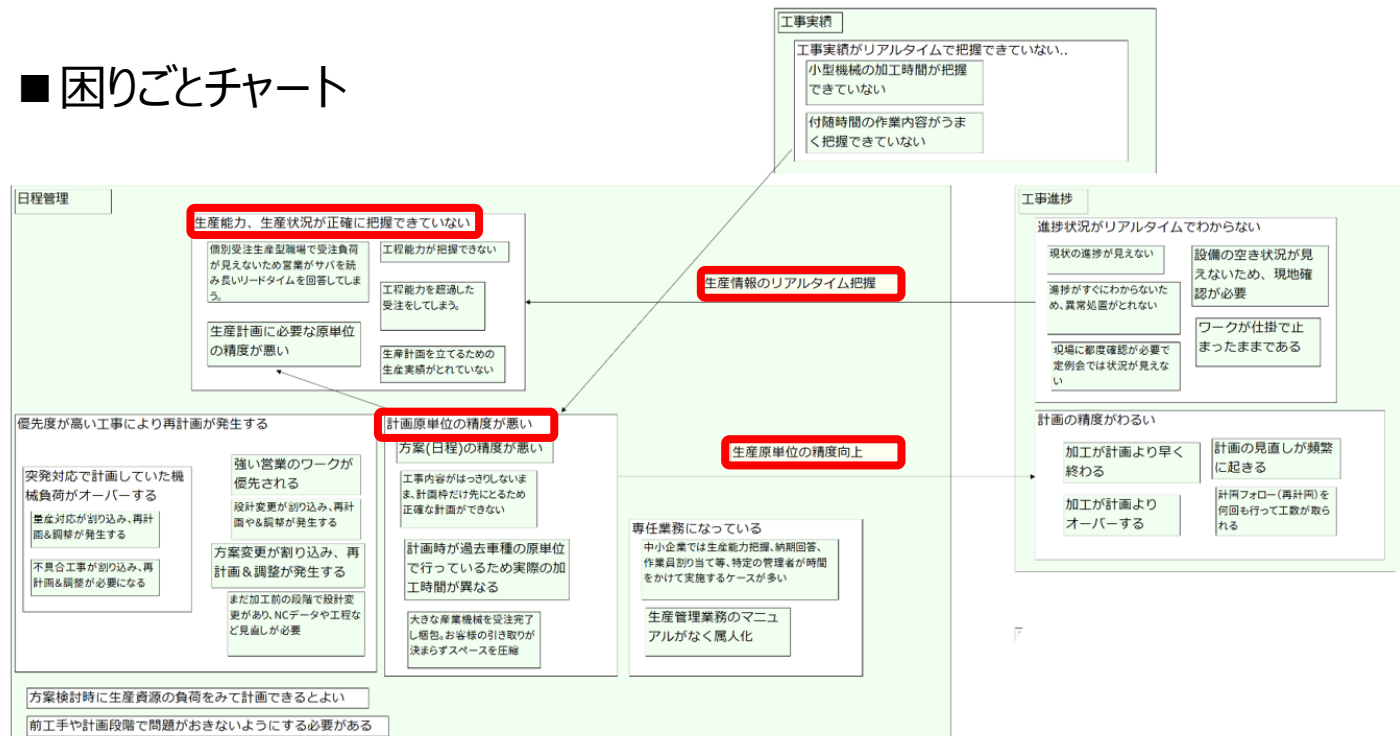
課題：**生産計画原単位**の精度が悪い/**必要な実績**がタイムリーに取得できていないために、生産計画と実績に乖離が発生している。

プレス金型



成形品(サイドフレーム)

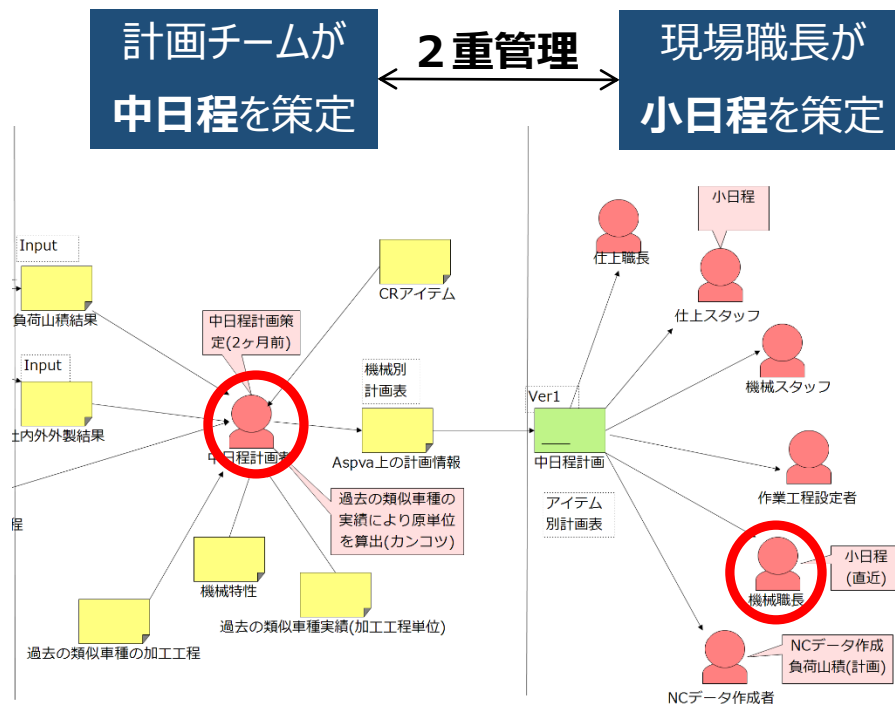
■ 困りごととチャート



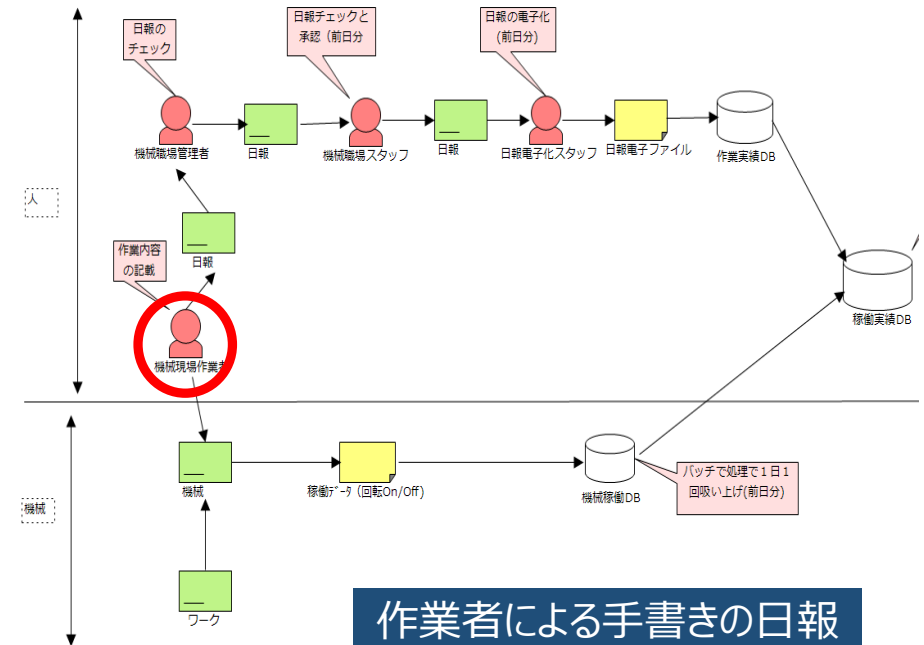
AS-IS（計画立案/実績収集）

- ① **類似車種実績をベースに** 中日程はベテラン担当者のカンコツで計画しており、計画と実績の差があるため職長が現場運用のために小日程を策定している。※中日程計画作成タイミング：製作2カ月前
- ② 作業実績は**手書きの日報**で管理されており、リアルタイムに取得できておらず、計画情報に反映できていない。

計画立案

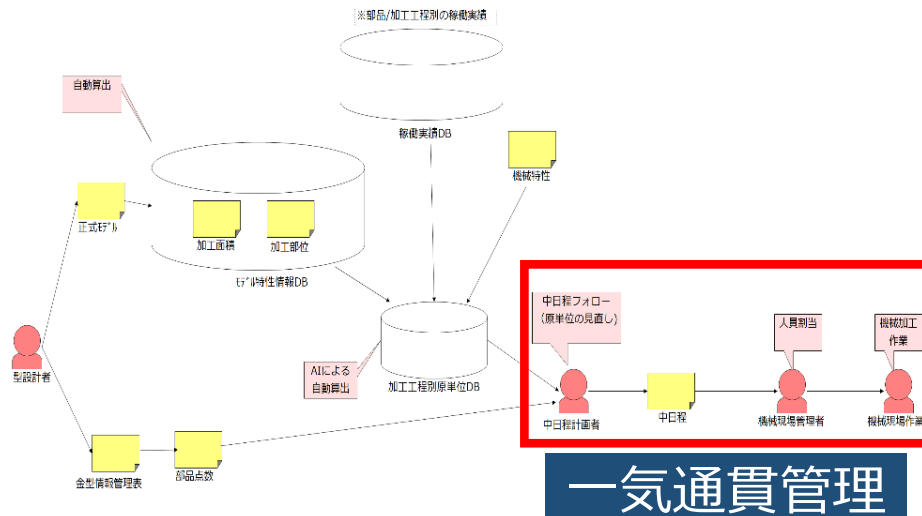


実績収集



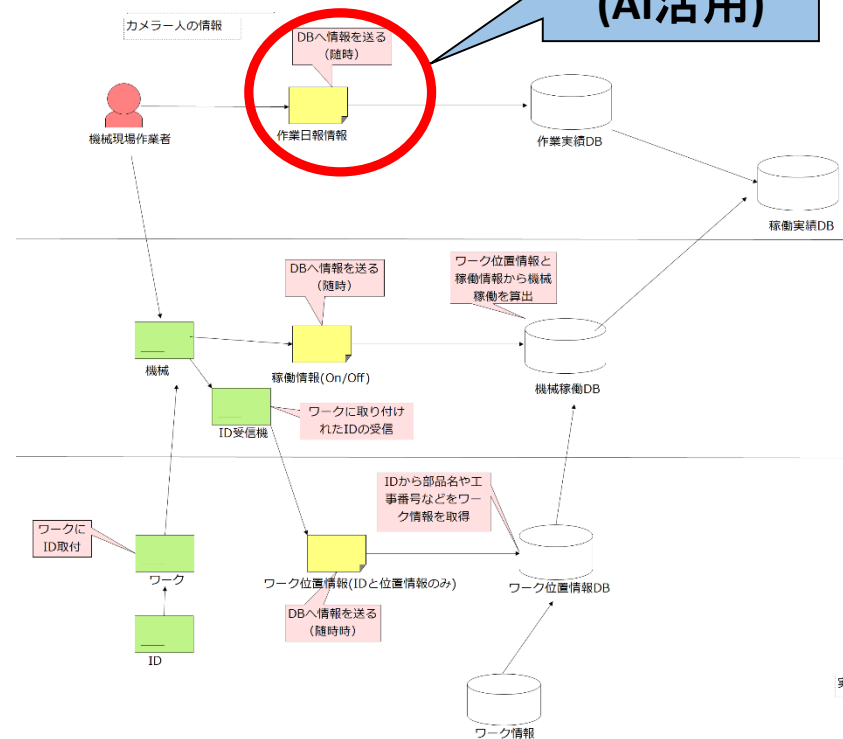
- ① **正式モデル情報をもとに、各工程別/加工別DBから算出された原単位を用いて**
中日程を作成することでより計画通りのモノ作りが実現する。（中日程で一気通貫管理）
- ② **作業実績を画像分析（AI活用）**により収集することで、リアルタイムに把握でき、計画情報に反映できる。

計画立案



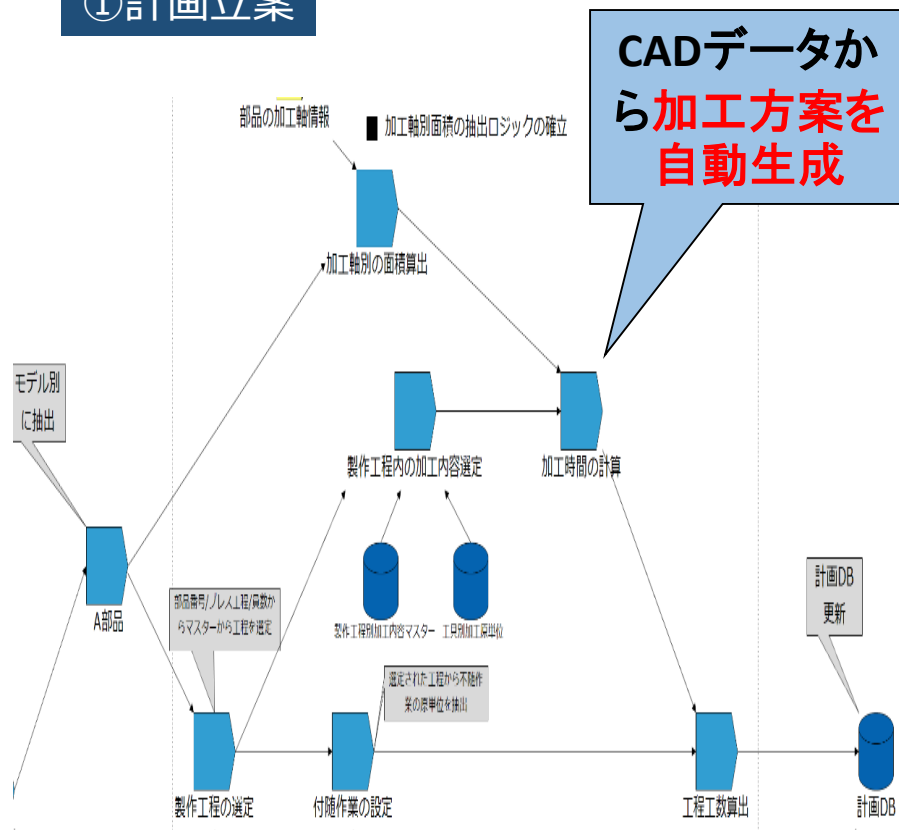
実績収集

画像分析 (AI活用)

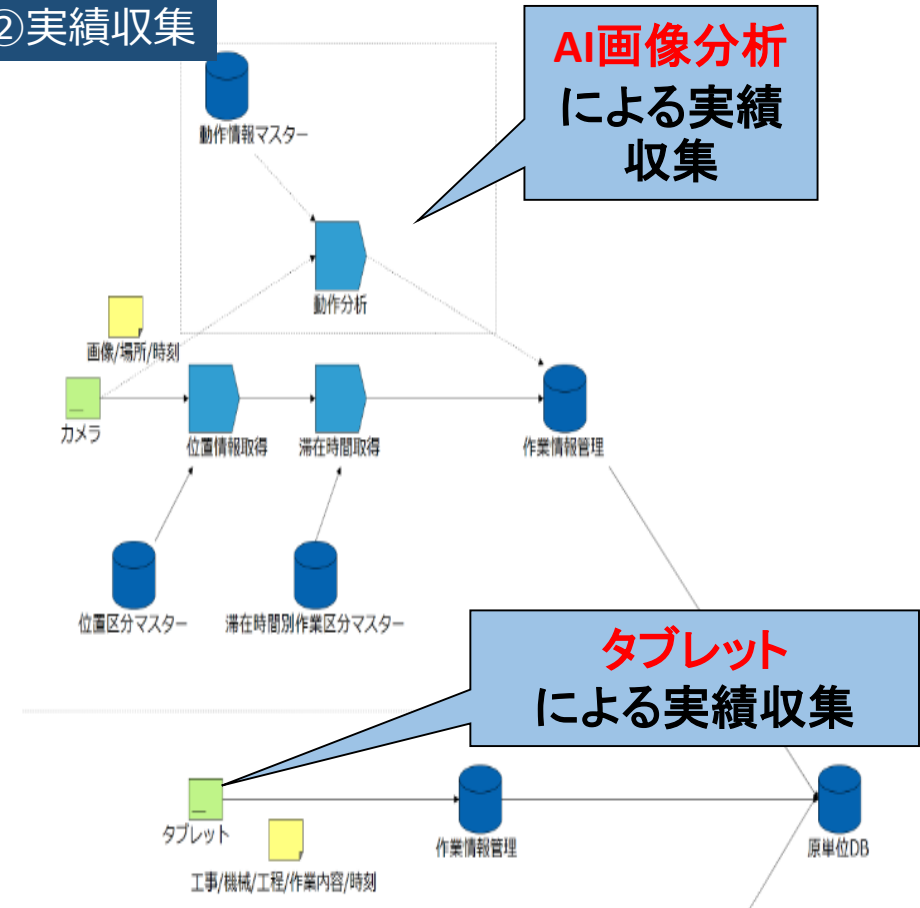


- ① CADデータの有効活用にトライするとともに **(CAD⇒加工方案生成)**、作業実績DBを用い精度の高い中日程計画を作成する。(日程の2重管理廃止)
- ② 作業実績を**AIによる画像分析/タブレットによる実績収集**することにより、DBにリアルタイム反映。
⇒②で収集したデータを作業実績DBに反映し、継続的に①の精度のブラッシュアップを図る。

①計画立案

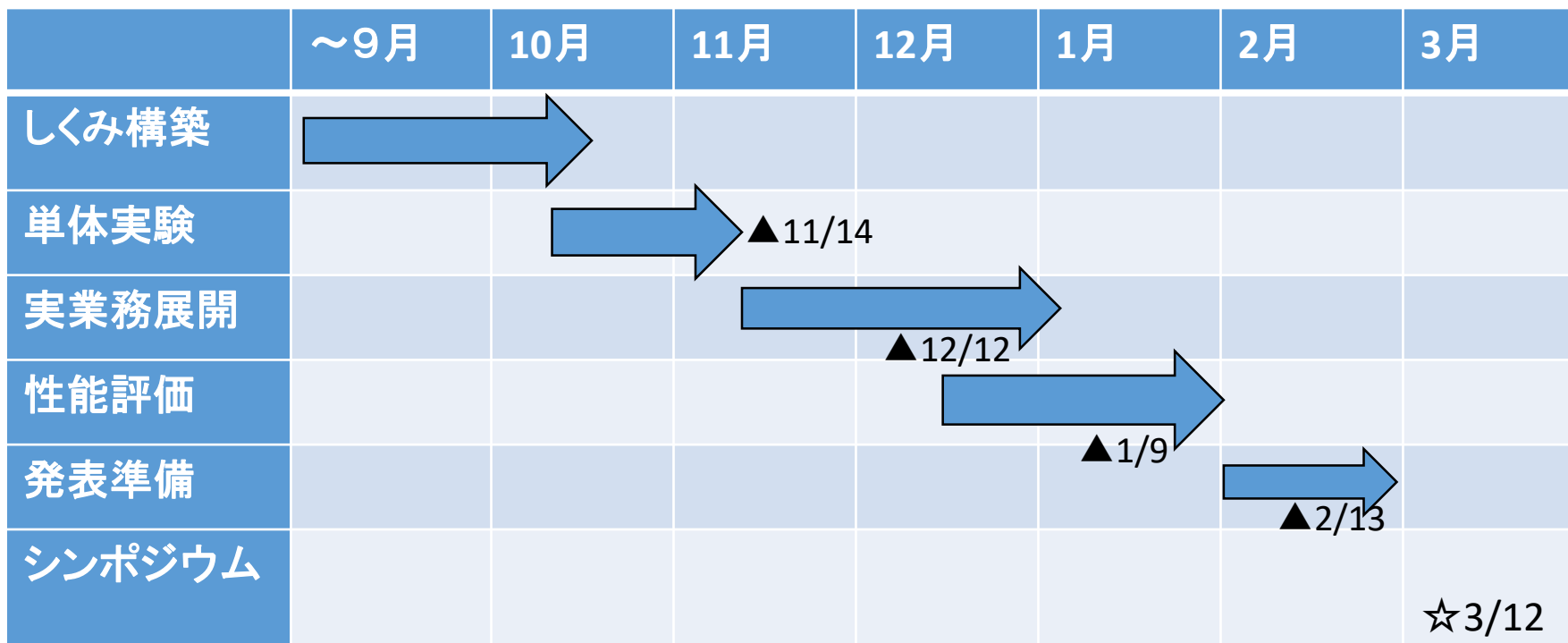


②実績収集



- ①CADデータの有効活用についてはPOC型、
 - ②AI画像認識についてはCIOF型
 - ③タブレット活用については堅実実装型として以下推進する。
- ⇒今年度の目標：②③の完遂/①の目途付け完

実装・実証実験に向けた計画 対象工場：マツダ広島工場



合同WG: ▲
シンポジウム: ☆